

## 令和3年度第1回食の安心・安全意見交換会の開催結果について

令和3年8月6日

農 政 課

食の安心・安全に関する取組に府民の意見を反映させるため、府内の消費者団体を対象に食の安心・安全意見交換会を開催しており、今年度初回となる意見交換会を開催しました。

- 1 日 時 令和3年7月20日（火）14:00～15:00
- 2 場 所 農林水産部会議室・zoom ミーティング（ハイブリッド開催）
- 3 出席者 消費者団体3団体9名、京都府（農政課、畜産課）3名
- 4 テーマ 畜産物の安心・安全
- 5 概 要

### （1）主な質疑応答

- Q. こだわり畜産物生産農場で生産された畜産物は、消費者が商品を見て分かるようになっているか。
- A. 直売所のある農場では、包装にシールを貼って販売したり、出荷用の段ボールにマークを印刷するなどの工夫をしている。
- Q. 野生いのししに散布する豚熱経口ワクチンの効果はどのように検証しているか。
- A. 散布後に残りを回収して、どのくらいいのししが食べたか、ということは調査しており、30～50%程度が食べられている。また、ワクチンを食べたであろういのししの抗体検査も実施して、ワクチンの効果も検証している。
- Q. 農場 HACCP、JGAP とはどのようなものか。
- A. 農場 HACCP は、例えば食中毒の原因となるような危害要因を分析・設定し、生産段階から管理していく手法。JGAP は、加えて、アニマルウェルフェアなど家畜にとって良い環境づくりをしている、従業員にとっても良い環境である、といった基準からなっている。

### （2）アンケート結果

ア アンケート平均点 3.6点（5点満点）

#### イ 主な意見・感想

- ・ 家畜保健衛生所の存在を初めて知り、家畜の病気を予防することで食の安全安心に繋がられていることがわかりました。
- ・ 新型コロナのワクチンの効果が話題になっているので、野生いのししのワクチンにも興味を持ちました。
- ・ 京のこだわり畜産物生産農場が、こだわりの基準の元に生産されていると聞き、とても良い取組なので消費者に分かりやすくアピールしていただき、販売促進につなげていただきたいと思います。